

epoch

エポック No100

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～
平成29(2017)年5月 発行

第11期第5回 概要報告



平成29年2月7日(火)、第5回千代田区生涯学習推進委員会議が開催されました。

今回は昨年行われた第2回会議に引き続き、「ちよだ生涯学習カレッジ」2コース目の学科について検討を進めました。更に、本年1月に開催された「千代田区生涯学習連絡会の設置に向けた準備会」の実施報告を行うと共に、第11期後半のテーマについて各委員から自由意見を頂くなど、多岐に渡る検討内容となっております。以下、議事概要をお伝えいたします。



「ちよだ生涯学習カレッジ」2コース目の学科について

昨年7月に実施された第2回の会議では、平成30年10月に開設予定の2コース目の学科の具体化に向け、10期からの検討経緯の情報共有や、学科(素案)の提示を行いました。そこで得た委員からのご意見を勘案して、今回の会議ではコースの考え方及び名称についてなど、下記のとおり新たな(案)をお示しして検討いただきました。

◆2コース目の提案

2コース目は千代田区について詳しい人
＝「●●マイスター」を養成するコースとしたい。
千代田というまちについての知識や教養を高め、まちの特性や構成要素に詳しく、将来的には区民研究科にもなりうる人材を想定。
⇒観光分野へのニーズにも応じ、卒業後にはボランティアガイドや千代田区の都市としての魅力を内外に発信する可能性も持っている。

◆コース名称(案)

千代田学マイスター(養成)コース
千代田クリエイティブマイスター(養成)コース
千代田まちのマイスター(養成)コース
千代田魅力発信マイスター(養成)コース
千代田水先案内(養成)コース

※「●●マイスター」は千代田の地理、歴史、文化などについて学び、まち歩きやワークショップ、インタビューなどを通じて、千代田という土地やまちに精通した人を想定している。

◆マイスターという言葉について

マイスター制度はドイツ発祥の職能訓練制度のことで、マイスターは「巨匠」や「親方」という意味で使われる一方、ある分野について学習し、精通した人への資格として使われることも多い。

⇒ある特定の分野についての学習過程を終了し、それに精通した人

例：ベジタブル&フルーツマイスター、ものづくりマイスター、温泉マイスターなど。

⇒自治体が認定しているもの

例：荒川マイスター

区内において長く同一の職業に従事し、培った高い技術と卓越した技術をもって後進の指導・育成に力を注いでいる方を、「モノづくりの街・荒川」を象徴する存在とするとして、「荒川マイスター」に認定している。



☆カリキュラムの考え方☆

基礎：歴史、地理、文化、まち並み、都市デザインなど千代田という「まち」について知る。

専門：生涯学習、ボランティア、プロボノについて理解する。

習熟：まち歩き、ワークショップ、インタビューなどを通して基礎・専門の理解度を深め、発展させる。

講師：都市デザイン、近現代史、地理などの専門家

☆カリキュラム案/6 単元☆

基礎Ⅰ：千代田学・コミュニティ学

基礎Ⅱ：生涯学習全般(生涯学習・ボランティア・プロボノ)

専門Ⅰ：街を知る、知ってもらう体験

専門Ⅱ：千代田区の地理、歴史、文化

習熟Ⅰ：グループワーク

習熟Ⅱ：ゼミナール

※基礎ⅠⅡは1コース目「学びと地域のコーディネーター(養成)コース」と同じ



質疑応答・自由意見

・「ちよだ生涯学習カレッジ」の学生が卒業し、学びの成果が地域もしくは外に還元されることが重要で、研究にこもりすぎたり、深めるだけののようなコースだと意味が無いと思う。

・間口が広く、地理・歴史・観光など、どれを選べる余地がある名称にすべきであり、コース名称は「千代田まちのマイスター(養成)コース」や「千代田魅力発信マイスター(養成)コース」が一番分かり易くて良いと思う。



・「千代田まちのマイスター(養成)コース」の「まち」をカタカナにしても良いではないか。

⇒区では様々な可能性を秘めた広い意味で、まちづくりの「まち」は敢えて平仮名で表記している。

・「千代田まちのマイスター(養成)コース」の「まち」はやはり平仮名の方が、文化的な要素が入っているイメージで良いと思う。



・カレッジが開校し授業を随分重ねていくうえで、学生達が望むところが徐々に見えてきていると思う。2コース目を検討するにあたり、学生たちが何に重きを置いているかを知る事がまずは大事だと思う。



・基礎Ⅰの千代田学・コミュニティ論というのはどのような内容か？

⇒千代田地域論のようなカリキュラムになっており、外神田や大丸有を取り上げる予定である。

・「ちよだ生涯学習カレッジ」は、学生たちにどのような道筋を付けようとしているのか。観光ガイドを養成したいのか、又は千代田区の様々なことを吸収して貰い、あとは学生自身に考えて頂く方向にするのか。

⇒後者に近い。観光に特化したマイスターを育成することではなく、あくまで選択肢のひとつとして観光ボランティアガイドが存在している。

●以上、頂いたご意見等を基に
第6回以降の会議にてコース名称
を確定し、カリキュラムの具体化も
図っていきます！

「千代田区生涯学習連絡会の設置に向けた準備会」実施報告

区は、千代田区内の文化・学習・コミュニティ施設、生涯学習機関等による情報の共有化や生涯学習ネットワークの構築をめざし、平成 29 年度に「千代田区生涯学習連絡会」の設置を予定しています。

その前段として、平成 29 年 1 月 19 日(木)に九段生涯学習館にて「千代田区生涯学習連絡会の設置に向けた準備会」を開催いたしました。

今回、委員の方々へ当準備会の実施報告を行いました。

◎参加機関 下記、文化・学習・コミュニティ施設および機関の実務担当者



アーツ千代田 3331	千代田区立 スポーツセンター
千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター	地域振興部 コミュニティ総務課
千代田区社会福祉協議会 高齢者活動センター	地域振興部 麹町出張所
公益財団法人 まちみらい千代田	地域振興部 富士見出張所
一般財団法人 千代田区観光協会	地域振興部 神保町出張所
千代田区立 千代田図書館	地域振興部 神田公園出張所
千代田区立 日比谷図書文化館	地域振興部 万世橋出張所
千代田区立 九段生涯学習館	地域振興部 和泉橋出張所

◎当日の主な議題

◆「千代田区生涯学習連絡会」の設置について

設 置 者：千代田区

事 務 局：地域振興部 生涯学習・スポーツ課

設置の目的：平成 29 年度に、区内の文化・学習・コミュニティ施設、生涯学習機関等による情報の共有化を図り生涯学習ネットワークの構築を目指す「千代田区生涯学習連絡会」を設置する。また、「ちよだ生涯学習カレッジ」の運営や、卒業生が地域で活動する際の協力や支援を、参加施設及び機関に要請する。



◆情報交換

下記のような情報提供・意見交換があった。

九段生涯学習館

当館は、本日お集まりの皆様にもご理解を頂いたうえ運営が成り立っている。今後「千代田区生涯学習連絡会」に参加し、皆様からのお話を頂戴する機会を積極的に増やし勉強を重ねたい。

コミュニティ総務課

マンション居住者と地域の方を繋げる交流の場「マンションカフェ」という事業の中で、将来的にカレッジ卒業生にファシリテーターとして活躍して頂くなど、今後連携が取れると考える。



ちよだボランティアセンター

「ちよだ生涯学習カレッジ」の学生には、当センターが企画したトークセッションに参加されていた方もおり、学生は学びと活動に熱心だという印象を持った。

高齢者活動センター

60 歳以上の千代田区民を対象にした「かがやき大学」の運営を行っており、「千代田区生涯学習連絡会」から得る情報等を、来年度以降に反映できるところは反映させていきたい。

第11期千代田区生涯学習推進委員会議 ～後半のテーマについて～

今回の会議で第11期も前半が終了し、後半のテーマ決定に向けて検討を行いました。委員の皆様より頂いたご意見を紹介します。次回会議では会長からテーマ(案)をお示しする予定です。

自由意見

- ・千代田区の魅力を知って、そこから「地域づくり」に活かせるようなテーマにしたい。
- ・テーマの中に「繋ぐ」という言葉を入れたら良いと思う。
- ・着物をイメージし、紡いだものを織って広げて形にするという、「広げる」という言葉がぴったりくると思う。
- ・「繋がり」という言葉をテーマに含めて、そこから更に発信し、千代田区の魅力を更に皆さんに知って頂くことが出来れば良いと思う。
- ・10月に開校した「ちよだ生涯学習カレッジ」がただひたすら道を進むのではなく、千代田区の人を含め、様々な資源、財産と絡んでいくようなことが出来るテーマだと良いと思う。
- ・自身が教鞭をとっている生徒に千代田区の皆さんがよく声を掛けてくださり、子供が育っていく。都会もとても優しさがあるのだということを、この会議から発信できるようなテーマだと良いと思う。

◆◆編集後記◆◆

おかげさまで、エポックは今号で第100号を迎えることが出来ました。第11期の後半も盛りだくさんの検討内容となるため、これからも引き続き、エポックにて会議概要をご確認頂ければ幸いです。

また、今回リレー随筆にご協力いただきました藤井委員にも心から御礼申し上げます。

リレー随筆 NO.7



縁は異なるものの味なもの

藤井 敬子

唐突ですが、とまとの会が今年3月末で閉会します。平成15年から65歳以上を対象に、干支の飾り物や季節的な手芸をある程度こちらで作成したものを、参加した方が完成させてお持ち帰り頂き(参加費1000円)、お茶とお菓子に、篠笛の演奏で懐かしい唱歌等一時間程楽しんで頂いておりました。他に7月には、フラダンス、1月には三味線と小唄に抹茶と正月らしさを出したり、会にご理解のある方が材料等提供して下さったり、アイデアを頂いたりと周りの方々のご協力もありつつ、参加者の笑顔に達成感を味わっていたように思います。しかし、いろいろな変化について行けず、このような結果となりました。

私が携わった約7年は半分にすぎませんが、とまとの会の皆さんとお知り合いになれたことが、私の一つの宝物になりました。このご縁を大切にしていきたいと思っています。

社会福祉協議会の方々にも大変お世話になり、御礼申し上げます。

ちよカレの生徒の皆様も色々な世代の方々とお知り合いになれたこのご縁を大切に、切磋琢磨し、ご活躍されますことを期待し私のエールと致します。

【編集／発行】

千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
TEL: 03-5211-3632
FAX: 03-3264-1466
Email: shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp